

# 第2次 魚津市子ども読書活動推進計画

～心豊かな子どもを育てるために～



平成25年3月

魚 津 市

# 第2次魚津市子ども読書活動推進計画

平成25年3月

## 目次

	頁
はじめに .....	1
第1章 計画の見直しにあたり .....	2
第2章 第一次推進計画による主な取組と課題 .....	3
第3章 基本的な方針 .....	10
第4章 推進のための具体的な取組 .....	11
1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進 .....	11
2 図書館における子どもの読書活動の推進 .....	12
3 学校における子どもの読書活動の推進 .....	14
4 保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進 .....	17
第5章 推進体制の整備 .....	18

## はじめに

魚津市では、平成17年3月に「魚津市子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭・地域・学校など社会全体で子どもたちが読書に親しむことができる環境づくりを進めてきました。

この間、子どもの読書活動は着実に向上してきましたが、一方、子どもを取り巻く読書環境や社会情勢等も年々変化し、時代に応じた取組が求められています。

平成19年6月に改正された学校教育法では、義務教育として行われる普通教育の目標のひとつとして、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと（学校教育法第21条第5項）」を新たに規定しました。

また、小学校では平成23年4月から、中学校では平成24年4月から全面実施された新学習指導要領では言語活動の充実を図るよう定められ、子どもの読書活動の一層の推進が求められています。

魚津市教育委員会では、これまでの取り組みの成果と課題、また社会の変化を踏まえて、現行の推進計画を見直し、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりに一層努めてまいりたいと考えています。

終わりに、本計画の見直しにあたり、多大なご尽力を賜りました「魚津市子ども読書活動推進委員会」の委員各位を初め、貴重なご意見をいただきました皆様方に深く感謝申し上げます。

平成25年3月

魚津市教育委員会

教育長 長 島 潔

# 第1章 計画の見直しにあたり

---

読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」（子どもの読書活動の推進に関する法律第2条）であり、社会全体でその推進を図っていくことは極めて重要です。

子どもの読書活動を推進するため、国では平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、平成14年には「第1次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が定められました。平成20年には第1次計画の成果や課題、諸情勢の変化等を検証した上で「第2次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されました。

また、富山県においては、平成15年に策定された「富山県子ども読書活動推進計画」による県・市町村の取り組みの成果や課題を踏まえ、平成21年3月に改訂版を策定しています。

魚津市においては、平成17年3月に「魚津市子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭や地域、図書館や学校等において、子どもの読書活動推進に向けた様々な取り組みを進めてきました。

その結果、小学生の読書量が著しく増える一方で、中学生の読書量に変化が見られず学年が進むにつれ不読者数も増加していることなどが課題となっています。

この計画は、本市における課題や社会情勢の変化等を踏まえ、子どもの読書活動をより一層推進するため、平成25年度からおおむね5年間の方策や指針を示したものです。

---

※「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）第9条第2項

市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画という。」）を策定するよう努めなければならない。

## 第2章 第1次推進計画による主な取組と課題

### 第1次計画期間における主な取組

「第1次魚津市子ども読書活動推進計画」に基づき、平成17年から平成24年の間に次に掲げる取組を推進しました。

#### 1 家庭・地域における取り組み

##### (1) 児童センター、子育て支援センター及び公民館における蔵書の充実

※「子育て支援ミニ文庫」設置事業（平成22・23年度）を利用するなど、ブックコーナーの蔵書が増加しました。

##### (2) 地域のボランティアによる読み聞かせ、お話の会の実施

児童センター、子育て支援センター及び公民館では、地域のボランティアによる読み聞かせ、お話の会を定期的に行いました。

#### 2 図書館における取り組み

##### (1) 図書の情報・発信

魚津市立図書館こどもだより「ともだち」を発行し、小中学校に配布するとともに、「広報うおづ」やホームページ等を通じ、子ども向け図書の情報提供を行いました。

##### (2) 資料の充実

児童書の蔵書数が増加しました。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
児童書蔵書冊数	31,376冊	32,540冊	34,194冊	35,125冊	36,650冊	38,720冊	39,963冊

##### (3) 児童向け施設の充実

授乳室、児童用トイレ、靴を脱いで使用するお話コーナー等の整備を行いました。

##### (4) 図書館の利用促進

小学校新1年生の図書館利用カードを、学校を通して希望者に一括して作成・配布しました。また、総合の学習の授業等において、図書館の利用方法などを案内しました。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
児童利用者数（人）	13,149	11,026	10,203	9,784	8,891	8,782	8,247
児童書貸出冊数（冊）	98,808	89,985	91,002	94,202	91,237	93,692	84,428

(5) ※はじめての絵本事業（ブックスタート事業）



平成15年4月に開始した「はじめての絵本事業（ブックスタート事業）」を継続して実施しました。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
配布数	392	344	369	361	311	304	277

(6) 各種イベントの開催

図書館へ気軽に来てもらい、本の世界に興味を持ってもらうため、様々な子ども向けイベントを開催しました。

- ① みんな集まれ！お話の会（絵本の読み聞かせ会）
- ② みんな集まれ！おはなし&おりがみひろば
- ③ おはなし玉手箱  
（地元人形劇団の協力によるお楽しみ会）
- ④ リサイクルコミックフェア  
（こどもの読書週間期間）
- ⑤ としょかんこどもなつまつり、  
としょかんクリスマス会



(7) 学校や保育園等への支援

学校や保育園等への読書支援として、図書の団体貸出を行い、調べ学習や授業指導に使用する図書の※レファレンスサービスを行いました。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
学校・保育園等 団体数（団体）	22	27	27	27	29	30	30
学校・保育園等の 貸出冊数（冊数）	7,594	10,683	9,579	8,095	6,157	5,851	4,797
うち学級文庫・園文庫 用貸出冊数（冊）	4,188	6,630	5,616	3,214	3,438	2,993	2,335

※「子育て支援ミニ文庫」設置事業

富山県が実施する市町村子育て支援事業のひとつ。読み聞かせのための絵本や子育て支援につながるDVD、ビデオ等を整備し、地域の子育て家庭を対象に読み聞かせやDVD鑑賞を行うとともに地域住民への貸出を実施。

※はじめての絵本事業（ブックスタート事業）

絵本をとおして、赤ちゃんとお母さんが楽しい時間を分かち合うことを応援する事業。健康センターにおける4か月健診時に、図書館ボランティア「ベビーブックの会」により、絵本の読み聞かせを行い絵本をプレゼントしている。

※レファレンスサービス

利用者の求めに応じて、図書館職員が図書館資料及び機能を活用して、資料や情報を提供するサービス。

### 3 学校における取り組み

#### (1) 全校一斉読書活動の実施状況

小学校では、「朝活動」や日常の教育活動の中で全校一斉読書活動の取組を行いました。

	平成18年度	平成20年度	平成22年度	平成24年度
小学校	13	13	13	12 (坪野小の閉校により)
中学校	0	0	0	0

#### (2) 学校図書館の蔵書の充実

小学校全体で蔵書数が増加し、文部科学省の「※学校図書館図書標準」達成校数が増加しました。

①学校図書館蔵書状況（ ）内は学校図書館図書標準の冊数 (単位：冊)

	平成17年度	平成19年度	平成21年度	平成23年度
小学校	76,238 (81,000)	78,268 (81,880)	79,081 (84,080)	82,565 (81,120)
中学校	43,951 (26,720)	44,048 (26,560)	31,498 (27,360)	28,097 (27,360)

② 学校図書館図書標準達成校数

	平成17年度	平成19年度	平成21年度	平成23年度
小学校	5	5	5	8
中学校	2	2	1	1

#### (3) 学校図書館司書の配置

小・中学校への学校図書館司書の配置を拡充しました。

	平成17年度	平成18年度	平成24年度
配置校数	小学校 8校 中学校 0校	小学校 13校 中学校 2校	小学校 12校 中学校 2校
学校図書館司書数	6名 (内兼務者2名)	9名 (内兼務者6名)	8名 (内兼務者6名)

#### (4) 「冬のあったか読書」



冬休み期間中、小学生が家族と一緒に読んだ本について、その感想や感想画をカードに書き、図書館に掲示して広く市民に紹介しました。

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
参加校数	3	3	6	6	7

※学校図書館図書標準

公立の義務教育諸学校において、学校図書館の整備を図る際の目標として文部科学省で設定されたもの。

#### (5) ボランティアとの連携

小学校において、地域ボランティアによる読み聞かせ、ブックトークなどが行われました。

	小学校の実施状況
平成 18 年度	9 校 (13 校中)
平成 20 年度	11 校 (13 校中)
平成 22 年度	12 校 (13 校中)
平成 24 年度	11 校 (12 校中)

#### (6) 読書調査の実施

「第1次魚津市子ども読書活動推進計画」の策定後、平成17年5月から小・中学生の1か月の読書量を調査しました。

【読書調査の実施結果】(5月の1か月間 調査対象：小学校4～6年生・中学生)

学校別	学年	平成17年度		平成24年度	
		平均冊数 (冊)	不読者の占める割合 (%)	平均冊数 (冊)	不読者の占める割合 (%)
小学校	4年	11.8	0.0	16.6	2.0
	5年	8.4	2.9	14.7	2.0
	6年	8.2	4.1	16.2	1.1
中学校	1年	3.1	22.6	3.1	32.6
	2年	2.9	7.6	2.5	36.7
	3年	2.0	50.0	2.9	55.8

## 4 保育園・幼稚園における取り組み

#### (1) 図書コーナーの充実

「子育て支援ミニ文庫」設置事業(平成22・23年度)を利用するなど保育園・幼稚園の蔵書が充実しました。

	図書保有全体冊数
保育園(市立・私立)	16,193
幼稚園(市立・私立)	2,936

#### (2) 保育士・教諭による読み聞かせ

午睡前や降園前などに日常的に読み聞かせを行いました。

#### (3) ボランティアとの連携

地域のボランティアや高校生による読み聞かせが行われました。

#### (4) 絵本の貸し出し

家庭で本に親しむ機会を設けるため、週末などに絵本の貸出を行いました。



## 第1次計画期間における主な課題

第1次魚津市子ども読書活動推進計画期間における子どもの読書活動の現状から、今後は主に次の課題に対して一層力を入れていく必要があります。

### (1) 中学生の読書量の向上

小学生の読書量が増える一方で、中学生の読書量が下がる傾向にあり、学年が進むにつれ1か月の間に全く本を読まない不読者数も増加しています。小学生が、学校での一斉読書などの取組により、読書習慣が確実に定着してきていると思われる一方、中学生の平均冊数が伸び悩み、学年が進むにつれ減少する傾向にあります。

### (2) 学校図書館等の図書の実充

平成24年5月1日現在、本市の学校図書館図書標準を達成している学校は、小学校で12校中8校、中学校で2校中1校となっており、学校図書館図書標準の達成に向け、引き続き取り組む必要があります。また、保育園や幼稚園においても、発達段階に応じた絵本等をより一層整備するなど蔵書の充実に取り組む必要があります。

### (3) 家庭への働きかけの強化

子どもの読書習慣は、家庭生活が出发点となり形成されていきます。保護者など身近な大人とふれあいながら本を読み、その楽しさを理解することが生涯にわたる読書習慣につながります。そのためにも、保護者や子どもをとりまく大人たちに、乳幼児期における子どもの読書活動の重要性について理解を深め、関心を高められるよう啓発を進めることが必要です。

## ○参考資料

### 【図書館における図書の受入状況】

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
図書受入 総冊数	10,206冊	9,913冊	9,422冊	7,406冊	7,688冊	8,666冊	7,857冊
うち児童書 (総冊数に 対する割合)	1,912冊 (18.7%)	1,396冊 (14.1%)	1,498冊 (15.9%)	1,315冊 (17.8%)	1,502冊 (19.5%)	1,545冊 (17.8%)	1,300冊 (16.5%)

### 【個人貸出冊数の推移】

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
利用者数(人)	103,683	103,471	102,461	105,906	105,165	100,426	97,801
うち児童数(人) (利用者数に対する割合)	13,149 (12.7%)	11,026 (10.7%)	10,203 (10.0%)	9,784 (9.2%)	8,891 (8.5%)	8,782 (8.7%)	8,247 (8.4%)
貸出冊数(冊)	335,847	332,205	335,238	357,777	359,523	352,778	347,115
うち児童書(冊) (総冊数に対する割合)	98,808 (29.4%)	89,985 (27.1%)	91,002 (27.1%)	94,202 (26.3%)	91,237 (25.4%)	93,692 (26.6%)	84,428 (24.3%)

### 【全校一斉の読書活動の実施校数】

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
小学校	13	13	13	13	13	13	13	12
毎日実施	3	3	3	4	4	2	2	1
週に数回	10	9	9	8	7	9	10	6
週に1回	0	1	1	1	2	2	1	5
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0

### 【学校図書館図書標準達成校数】

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
小学校	5	3	5	5	5	—	8
中学校	2	2	2	1	1	—	1

【読書調査の実施結果】

(1) 小学生

	4年			5年			6年			平均冊数(冊)	不読者の占める割合(%)
	調査回答者数(人)	平均冊数(冊)	不読者数(人)	調査回答者数(人)	平均冊数(冊)	不読者数(人)	調査回答者数(人)	平均冊数(冊)	不読者数(人)		
H17	252	11.8	0	280	8.4	8	241	8.2	10	9.5	2.3
H18	251	14.5	3	250	8.7	4	284	7.2	27	10.0	4.3
H19	263	12.0	5	259	11.1	8	245	8.4	6	10.6	2.5
H20	228	16.0	1	263	10.3	13	267	9.8	4	11.9	2.4
H21	251	14.5	26	240	16.3	19	188	20.9	19	16.9	9.4
H22	257	17.9	2	273	14.1	1	234	13.6	2	15.2	0.7
H23	243	20.9	2	261	15.5	2	273	12.1	3	16.0	0.9
H24	244	16.6	5	246	14.7	5	262	16.2	3	15.9	1.7

(2) 中学生

	1年			2年			3年			平均冊数(冊)	不読者の占める割合(%)
	調査回答者数(人)	平均冊数(冊)	不読者数(人)	調査回答者数(人)	平均冊数(冊)	不読者数(人)	調査回答者数(人)	平均冊数(冊)	不読者数(人)		
H17	146	3.1	33	144	2.9	11	150	2.0	75	2.7	27.0
H18	137	2.2	7	142	2.8	46	140	1.9	80	2.3	31.7
H19	101	3.7	5	99	1.4	27	104	1.6	40	2.3	24.3
H20	141	4.0	12	128	4.2	15	124	1.2	83	3.2	28.0
H21	130	4.0	8	142	3.9	38	139	3.0	84	3.6	31.6
H22	127	3.9	7	142	2.9	62	136	2.3	81	3.0	37.0
H23	114	3.0	17	139	2.5	57	137	1.3	84	2.2	40.5
H24	138	3.1	45	139	2.5	51	138	2.9	77	2.8	41.7

## 第3章 基本的な方針

「第1次魚津市子ども読書活動推進計画」に基づき、平成17年から平成24年に実施した取組の成果や課題を踏まえ、次の基本方針のもと、子どもの読書活動の推進に取り組みます。

### 1. 基本的な方針

#### (1) 本に親しむ機会の積極的な提供と環境づくり

家庭や地域、学校、図書館などにおいて、読書の楽しさを伝え、子どもが読書に親しむ機会の提供に努めるとともに、本を読みたいときにいつでも読める、身近に本のある環境づくりに努めます。

#### (2) 家庭への啓発活動の推進

子どもは、幼い時から家族に絵本を読んでもらったり、読書する大人の姿を見ながら生涯にわたる読書習慣を身に付けていきます。家庭の中で身近な大人が読書活動に十分な理解を持ち、関心を高められるよう様々な機会をとらえ、啓発活動を推進します。

#### (3) 子どもの読書活動にかかわる関係機関との連携の推進

子どもの読書活動にかかわる施設や団体との連携を深め、社会全体で読書活動を支える体制づくりや情報提供に努めます。

### 2. 計画の推進期間

平成25年度からおおむね5年間とし、必要に応じて計画を見直します。



みんな集まれ！ お話の会（図書館）

## 第4章 推進のための具体的な取組

### 1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

#### 家庭・地域の役割

子どもの読書習慣は、日常の家庭生活が出発点となり形成されていきます。乳幼児期に家庭で行われる絵本の読み聞かせによって、子どもは想像力をふくらませ、ことばを理解していきます。保護者など身近な大人とふれあいながら絵本を読み、読書の楽しさを理解することが生涯の読書習慣を育てることにつながります。そのためにも、保護者や子どもをとりまく大人たちに、乳幼児期における子どもの読書活動の重要性について理解を深め関心を高められるよう啓発を進めることが重要です。

また、家庭以外においても、地域の中心的な施設である児童センターや公民館など子どもが積極的に利用できるよう、子ども向け読書環境の整備や読書活動を一層推進することが必要です。

#### 推進のための取組

##### (1) 「マタニティーセミナー」、「パパとママの育児教室」等における啓発

健康センターで実施される「マタニティーセミナー」や「パパとママの育児教室」において、家庭における読書の大切さを認識してもらうため、啓発リーフレットや推薦絵本リスト等を配布し、妊娠期から保護者への啓発を行います。

##### (2) 乳幼児健診における啓発

4か月健診におけるブックスタート事業にくわえ、「1歳6月健診」や「3歳児健診」等においても、発達段階に応じた推薦絵本リスト等を保護者に配布します。

##### (3) 児童センター、公民館、子育て支援センターでの読書活動

地域の施設に、自由に手に取り貸出可能な図書があることや、イベント等で定期的に読み聞かせ会を実施していることをより広く地域に発信するとともに、各施設における読書環境の充実を目指します。

## 2 図書館における子どもの読書活動の推進

### 図書館の役割

「誰もがゆったりと好きな本に出会える」滞在型図書館として、平成17年3月にオープンした現在の図書館は、土・日曜日にも開館し、子どもが読書の楽しさを知り、自主的な読書活動のきっかけをつくるための環境づくりを推進しています。図書館は子どもが多くの本と出会える場所であり、読書の喜びを広める中心的施設としての役割を果たすことが期待されます。

### 推進のための取組

#### (1) 児童書の充実と利用促進

子どもが楽しんで読める魅力ある図書資料や視聴覚資料の充実に努めるとともにふるさとの民話や文学等の郷土資料の充実に努めます。また、ホームページ等を利用した図書館資料の検索や貸出予約など電子的なサービスによる利用の促進を図ります。

#### (2) 児童図書コーナーの充実

子どもが楽しく読書に専念できる環境の整備に努め、魅力的で親しみのもてる「児童図書コーナー」「ヤングコーナー」（中・高校生向き）の充実に図ります。

#### (3) 中学生及び高校生への啓発

読書離れが進みやすい中学生・高校生に読書の大切さを知ってもらうため、市の広報やホームページ等を通じ、中高生向けの図書情報を提供します。

#### (4) 学校や保育園、幼稚園等への読書支援体制の充実

団体貸出を希望する学校等との調整を図りながら、資料の効果的な活用に努めます。また、情報提供や読書相談、レファレンスサービスなどにより、学校等を支援します。特に小学校の総合的な学習や調べ学習のため団体貸出へのニーズが高いことから、学校図書館司書との連携や情報交換を密にし、学校への支援を強化します。また、遠足や総合的な学習等で図書館見学を訪れる子どもたちに、読書の楽しさを体験してもらえよう年齢や学年に応じたコースを工夫します。

## (5) 情報の発信・提供

ブックスタート事業で配布するリーフレット「あかちゃんといっしょに楽しむ絵本」や、魚津市立図書館こどもだより「ともだち」など読書啓発パンフレットの内容の工夫と充実に努めます。また、「子ども読書の日（4月23日）」や「読書週間（10月27日～11月9日）」など様々な機会をとらえ、市の広報やホームページ、CATVを利用して積極的に読書に関する啓発を行います。

## (6) 担当職員の研修の充実

子どもへのサービス向上を図る研修を行い、子どもや保護者が気軽に相談し、的確に対応できるよう職員の資質の向上を図り、レファレンス機能を充実します。

## (7) ボランティア団体、市民団体との連携・支援

図書館で活動しているボランティア団体の活動をさらに支援します。また図書館ボランティアのほか地域の読み聞かせ団体との情報交換を密に行うとともに、研修会などを通してボランティアの資質向上を図ります。

## (8) 障がいのある子どもや外国人の子どもへのサービスの充実

点字資料や録音資料、手話や字幕入りの映像資料、外国語資料や日本語学習資料等の整備に努めます。また、図書館利用の際のサポートや相談体制の充実に努めます。

はじめての絵本事業（ブックスタート事業）



みんな集まれ！お話の会



### 3 学校における子どもの読書活動の推進

#### 小中学校の役割

学校は、子どもの読書習慣を形成していく上で大きな役割を担っており、学校図書館は、学校教育における学びを支援するとともに、子どもの自由な読書を保障する施設として、市立図書館とともに重要な位置を占めています。

平成 19 年 6 月に改正された学校教育法では、普通教育の目標のひとつとして、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと（学校教育法第 21 条第 5 項）」を新たに規定しました。また、小学校では平成 23 年 4 月から、中学校では平成 24 年 4 月から全面実施された新学習指導要領では言語活動の充実を図るよう定められ、学校における読書活動の一層の推進が求められています。

年齢が高くなるにつれて本を読まない子どもの割合が増えている実態を踏まえ、子どもが読書に親しむ機会を増やし、読書習慣を身に付けるための取組を推進する必要があります。

#### 推進のための取組

##### (1) 読書習慣の確立

「朝の読書」などの全校一斉読書は、子どもに読書習慣を定着させたり読書に親しむ契機となることから、とりわけ読書離れが進む傾向にある中学校において全校一斉読書を一層推進するとともに、子どもが読書に自主的に取り組もうとする意識が育つ環境づくりに努めます。

##### (2) 学校図書館の図書の充実



児童・生徒が興味や関心を持てるような図書、各教科や総合的な学習における調べ学習に必要な図書の整備を進めます。また、図書の購入に当たっては、蔵書構成を踏まえつつ、児童・生徒の希望にも配慮し、多様なニーズに応えられる魅力ある図書の整備に努めるとともに、文部科学省が示す学校図書館図書標準の達成を図ります。

### (3) 学校図書館の環境整備の推進

児童・生徒が落ち着いて読書を楽しんだり学習したりする場所として活用できるよう、学校図書館の機能や各学校の状況を踏まえた環境整備に配慮します。図書の配架、レイアウトなどに工夫を凝らし、子どもが利用しやすい読書環境づくりに努めます。

### (4) 学校図書館の利用促進

学校図書館の利用促進を図るため、子どもの興味を引く「図書室だより」を作成するとともに、校内放送による新着図書・お薦め図書の紹介や読書スタンプラリーを行うなど、子どもが学校図書館を利用したくなるような企画の実施に努めます。

### (5) 図書委員会の活性化

図書委員会の児童・生徒による様々な自主的な活動の場を設け、学校における読書活動の充実を図ります。



※  
ネコバス号

### (6) 校内の推進体制の確立

児童・生徒の読書活動指導を効果的に行うため、司書教諭や学校図書館司書を中心とした校内推進体制を確立します。また、読書指導のあり方や学校図書館の運営の方法などについて研修を行い、教職員の読書に関する指導力の向上を図ります。

### (7) 学校図書館司書配置の拡充

学校図書館司書の配置を拡充することに努めます。また、各学校の取組について情報交換を行い、学校図書館司書の資質向上を図るため、研修会を定期的に開催します。



### (8) 推薦図書や必読図書の選定



発達段階に応じた、推薦図書、必読図書を選定するとともに、地域にゆかりのある物語や作家の本、ふるさとの民話を指定するなど、郷土資料の選定を進めます。

---

※ネコバス号（移動図書館）

吉島小学校で、図書委員会の児童による取組のひとつ。貸出用の本を載せ、各クラスを巡回している。

## (9) 学校図書館の情報化

学校図書館にコンピューターを整備し、図書情報のデータベース化を推進するとともに、インターネットを活用して図書館等との連携を深め、多様な興味や関心に応える図書情報の提供に努めます。

## (10) 地域との連携



保護者や地域のボランティアが、学校の読書活動支援に積極的に参加できるよう環境整備を図ります。また、読み聞かせ以外にも学校図書館の活動へのボランティアの参加促進に努めます。

※「すすめたい ふるさと とやま100冊の本」(一部)



ネコバス号に集まる子どもたち



---

※「すすめたい ふるさと とやま100冊の本」

平成22年「国民読書年」を記念して、富山県がふるさと教育の一環として、富山にゆかりのある文学作品や富山を舞台にした物語などから、小・中・高校生向けに選定した合計100冊の本

## 4 保育園・幼稚園における読書活動の推進

### 保育園・幼稚園の役割

保育園や幼稚園においては、子どもの言葉への感覚や想像力、表現力を養うとともに、日常生活において多くの絵本や物語に親しむことができる環境整備が必要です。また、保護者に対しても幼児期における読書の重要性について理解を深めるよう積極的に働きかける必要があります。

### 推進のための取組

#### (1) 保育園・幼稚園の読書環境の整備

子どもが落ち着いて楽しく本に親しむことができる図書コーナースペースの確保や、掲示物の工夫等により、魅力ある読書環境の整備に努めます。



#### (2) 保育士、幼稚園教諭やボランティアによる読書の普及

保育士や教諭が、読み聞かせや読書指導の方法、読書に関する新しい情報を得られるよう研修の機会を設け、子どもや保護者に日常的に本の楽しさを伝えることができるよう努めます。また、市民ボランティアによる読み聞かせを定期的に行うなど、今後もボランティアとの連携強化を図ります。

#### (3) 保護者への啓発

保育園・幼稚園の行事や「園だより」等を通して、保護者に読み聞かせを通して親子のふれあいの大切さを伝えるとともに、お薦め絵本などの情報提供や図書の貸出しを通し、幼少時における子どもの読書活動の大切さを広く啓発します。

#### (4) 図書館との連携

多くの図書にふれるため図書館の団体貸出制度を積極的に活用するとともに、絵本の選定や管理方法について図書館から助言を得るなど、図書館との連携を強化します。また、親子遠足等で図書館を訪問し、絵本や読み聞かせを楽しむ機会を増やします。

## 第5章 推進体制の整備

---

この計画の推進にあたっては、社会全体の取組みが不可欠であり、子どもにかかわる施設、団体、子どもを取り巻くすべての大人たちが、情報交換を密にし、連携協力することが必要です。

- 1 「魚津市子ども読書活動推進委員会」を設置し、施策等を総合的・計画的に推進します。
- 2 教育委員会、学校、教育センター、図書館の連絡会・研修会の定期的な開催に努めます。
- 3 図書館、保育園、幼稚園、児童センター、公民館の綿密な情報交換に努めます。
- 4 ボランティア・市民団体と連携し、読み聞かせなどの充実を図るとともに、団体の活動が活発に行われるように講座の開催など支援を行います。
- 5 保護者、地域住民など子どもを取り巻く大人が、積極的に読書に関わり支援活動に参加できるように、幅広く情報を公開し参加の機会を拡充します。
- 6 魚津市子ども読書活動推進計画策定と読書活動の意義や重要性について広く市民に啓発広報します。

平成 24 年度 魚津市子ども読書活動推進委員会

【 委 員 】

役 職 等	氏 名
魚津市図書館協議会委員	長谷川 光 子
市 P T A 連合会副会長	寺 崎 博 之
片貝小学校学校図書館司書	酒 井 友 子
お話を楽しむ会・ベビーブックの会	鈴 木 保 子
お話を楽しむ会・ベビーブックの会	纒 坂 鈴 香
第 1 次計画策定委員	釧 崎 和歌子
西部中学校長	松 本 修 治
大町小学校長	山 浦 春 美

【事務局】

教育委員会次長
学校教育課長
生涯学習・スポーツ課長
こども課長
図書館長

【ワーキンググループ構成員】

学校教育課	学校教育係	主 査
生涯学習・スポーツ課	生涯学習係	主 任
こども課	保育係	指導主事
図書館	図書係	主 任

第2次 魚津市子ども読書活動推進計画

(平成 2 5 年 3 月)

編集・発行

魚津市子ども読書活動推進委員会

魚津市教育委員会

〒937-0066 富山県魚津市北鬼江 313 番地 2

電話 0765-23-1044

表紙イラスト：魚津市立図書館主任 谷越 愛子